

2015年6月27日

《目次》

1. 新学長に辻 洋(つじ ひろし)先生が就任されました。
2. 「世界に翔けつばさ基金」ご協力のお願い。
3. 紅谷進氏(淀工専2期:昭和23年卒)が瑞宝小授章受章されました。
4. 会誌「中百舌鳥電気クラブ」広告掲載のおねがい。
5. NDC のホームページを近々一新します。
6. 会誌49号のアンケートへの回答をお願いします。
7. 府大の主なトピックス
 - (ア) 鈴与商事 バイオガス発電施設着工
 - (イ) ユーグレナのワックスエスティル合成系の代謝改変に成功
 - (ウ) モーターの電磁損失を正確に分析・測定する評価装置を大阪府大に設置

1. 新学長に辻 洋先生が就任されました。

1953年生まれ。1976年京都大学工学部卒業。1978年同大学院工学研究科修士課程修了。同年株式会社日立製作所入社(～2002年)。この間、米国・カーネギーメロン大学客員研究員やスタンフォード日本センター客員研究員や大阪大学大学院等の非常勤講師。2002年大阪府立大学大学院工学研究科教授。2007年学術情報センター情報システム部長(～2011年)、2012年現代システム科学域長、学術情報センター長補佐(～2013年)。2013年理事(教育研究担当)・副学長兼地域連携研究機構長兼 21世紀科学研究機構長(～2015年)。専門領域は経営情報システム。博士(工学)、技術士(情報工学)。

2. 紅谷進氏(淀工専2期:昭和23年卒)が瑞宝小授章受章されました。

同期の宮前／山口の2氏から以下の報告を頂いております。おめでとうございます。

『紅谷進君授章の根拠になった経歴は、国鉄からJRに統合して車両の点検整備の仕事や指導等長年に亘っての功績を評価され授章されました。私達も初めて見る日本国の大好きな印、国璽、内閣総理大臣の署名捺印の立派な賞状及び勲章を見ることが出来て嬉しい思いをしました。』



3. 「世界に翔けつばさ基金」ご協力のお願い。

大学の設立団体である大阪府の財政状況が厳しい中、大学運営も年々厳しさを増しております。このような厳しい状況下、大阪府立大学を発展させ、社会で活躍する人材を育成する本学の基本的な使命は全うするために、教育研究環境の整備をはじめ学生への教育研究支援の充実を確固としたものにし、学生が世界の舞台で活躍できるよう、「世界に翔けつばさ基金」(府大基金の愛称)として、大阪府の協力を得て“ふるさと納税”制度を活用した寄附募集活動を継続しております。詳細はHPをご参照ください。

◆つばさ基金 トップページ

<http://www.osakafu-u.ac.jp/alumni/kikin/index.html>

◆寄附申し込みページ

<http://www.osakafu-u.ac.jp/alumni/kikin/contrib2.html>

4. 会誌「中百舌鳥電気クラブ」広告掲載のおねがい。

企業が生き残るために新たな事業を起こし、それに必要な人材を社内外から集められ、人材の流動化が進みつつあります。しかしながら成長力のある企業であっても、その知名度によっては本当に必要とする適材を得るのが難しいのが現実です。

会誌「中百舌鳥電気クラブ」の発行部数は4000部となっており、府大の電気電子系学類のOBはもちろんのこと、在学生(学部、院)及び新入生、及び一部の職員にまで広く購読されています。

そこで、会誌「中百舌鳥電気クラブ」の次号(50号)では、リクルートを主目的として府大OBが関係する企業の広告特集を企画しております。

これから的新卒生、そして既に企業で十分に活躍している府大OBに、自社のコンセプト、狙いを十分にPRできる場を提供できればと願っております。

費用は、紙面1／4ページで2万円の予定です。是非下記へお問い合わせ下さい。

NDC編集係アドレス : ndc-edit@pe.osakafu-u.ac.jp

5. 中百舌鳥電気クラブの新しいホームページを立ち上げます。

いつも中百舌鳥電気クラブのホームページ(<http://opu-ndc.sakura.ne.jp/>)を閲覧いただきありがとうございます。

現在ホームページで同窓会の各種情報や最近の府大の動向をお知らせしていますが、このたびホームページを一方的な情報発信の場から、もっともっと会員相互間の交流の場として活用していただけるように、内容とデザインを一新すべく作業を進めております。

このホームページは近々導入を予定している「名簿システム」とも連動する会員専用のページ(ID およびパスワード必要)を新設し、今まで全情報をパブリックにオープンにしていた為に提供出来なかった会員向けのより詳しい情報の提供も予定しています。

8月初旬頃に新しいホームページの運用を始められるよう計画していますのでご期待ください。そして、新しいホームページを通じて会員相互間のコミュニケーションをどんどん深めて頂けたらと思います。

6. 会誌49号のアンケートへの回答をお願いします。

本ニュースを添付したメール本文にアンケートを貼り付けております。今後の編集のやり方の改善等に役立てさせていただきますので、お手数ですが各項目ご記入の上、そのまま送信者(mhori@iris.eonet.ne.jp)へ返信下さるようお願いします。

本アンケートの主対象は集計の都合上、各期幹事様としますが、代理の方及びその他希望される方がおられれば、よろしくお願いします。

7. 府大の主なトピックス

(ア) 鈴与商事 バイオガス発電施設着工(2015/3/30)

鈴与商事株式会社は、有機系廃棄物を有効活用したバイオガス発電と発酵および発電

過程で生じる副産物を更に利活用する“資源循環型バイオガス発電”システムの構築に向け、静岡県菊川市にてバイオガス発電プラントの建設に着手した。

※NewsRelease より抜粋:(http://www.suzuyoshoji.co.jp/common/pdf/2015/0330_press.pdf)

この一連の計画には、本学大学院工学研究科の安田昌弘准教授が技術支援として関わっている。安田准教授と株式会社公害防止機器研究所が技術支援を行い、バイオガス燃焼後の排気ガスから NO_x を除去し、CO₂を精製するシステムを構築する。

※facebook より抜粋:

(<https://www.facebook.com/OsakaPrefectureUniv/posts/451798408306487>)

(イ) ユーグレナのワックスエステル合成系の代謝改変に成功(2015/4/10)

光合成生物であるユーグレナ(ミトリムシ)は、細胞内にワックスエステルという油脂を蓄積する。この物質を輸送用燃料に変換して利用するための研究開発が進められているが、合成メカニズムに不明な点が多く、従来ワックスエステル合成を制御することは困難でした。

大阪府立大学の中澤昌美助教らの研究グループは、ユーグレナのワックスエステル代謝を解析・制御して、人為的にワックスエステルを改変する研究に取り組んだ。本研究において、ワックスエステル合成過程で機能する中・長鎖脂肪酸伸長酵素(3-ケトアシルCoAチオラーゼ;KAT注2))を同定し、この酵素の発現を抑制することにより、構成炭素長の短いワックスエステルを作ることに世界で初めて成功した。

※JSTHP より抜粋:(<http://www.jst.go.jp/pr/announce/20150410/>)

(ウ) モーターの電磁損失を正確に分析・測定する評価装置を大阪府大に設置(2015/4/14)

NEDOと高効率モーター用磁性材料技術研究組合(MagHEM)は13日、モーターの電磁損失を正確に分析・測定できる評価装置を開発したと発表した。大阪府立大学(堺市中区)のモーター・磁性材料技術開発センターに設置する。

新規磁性材料を用いた次世代型自動車や産業機器向けの高効率モーターの評価分析に活用する。分析装置の軸受部分を磁気軸受とすることでモーターの回転部分が非接触になり、摩擦損失をほぼ0に抑えられる。

設計に必要なエネルギー損失の数値を高精度に計測することができるという。

両研究機関は2022年にモーターのエネルギー損失について25%削減することを目標としている。今回の分析評価装置は、設計に向けた要素技術として活用が期待される。

日刊工業新聞記事より抜粋:(<http://www.nikkan.co.jp/news/nkx0720150414eaae.html>)

《お願い》

「NDC News」についてお気づきのことや、ご意見等は、

NDC編集係アドレス : ndc-edit@pe.osakafu-u.ac.jp

にお寄せ下さいますようお願い致します。

(文責 中百舌鳥電気クラブ 副会長 堀 道明)

以上